

【審査表】緑の基本計画改定支援業務 プロポーザル審査基準

審査項目		配点	内訳	審査の視点
①	事業実績	10	10	・平成28年4月1日以降に完了した地方公共団体発注の緑の基本計画策定又は改定業務の実績を有しているか ・公園ストック再編に関連する業務実績を有しているか ・本業務を遂行するための知見・ノウハウが期待できるか
②	業務理解度	10	10	・本業務の目的及び趣旨を理解しているか。 ・本業務で求められる調査、分析及び課題整理の重要性を理解しているか。 ・業務実施に当たっての着眼点及び考え方が妥当であるか。 ・社会情勢の変化や緑行政の動向を踏まえた認識が示されているか。
③	配置予定技術者	10	10	・主任技術者及び照査技術者が業務要件を満たしているか ※主任技術者：技術士（建設部門（都市及び地方計画））の資格を有する者、平成28年4月1日以降完了の緑の基本計画の策定又は改定業務で主任技術者又は照査技術者として従事した者 ※照査技術者：技術士（建設部門（都市及び地方計画））の資格を有する者、平成28年4月1日以降完了の緑の基本計画の策定又は改定業務で主任技術者又は照査技術者として従事した者 ・緑の基本計画策定又は改定業務の実績が豊富か ・主任技術者が本業務を統括する能力を有しているか ・技術者全体として本業務に必要な専門性を有しているか
④	業務実施体制及び業務フロー	10	10	・主任技術者を中心とした実施体制が明確か ・業務ごとの役割分担が適切か ・技術者が適正に配置されているか ・発注者との協議・調全体制が確保されているか ・業務フローに実現性及び効率性があるか
⑤	工程計画	5	5	・業務工程が具体的か ・スケジュールに無理がないか
⑥	価格	5	5	・提案見積額 価格点＝5 ×（最低見積価格÷提案見積価格）※小数点以下切り捨て
⑦	提案内容	45	10	a. 公園ストック再編を見据えた市民意向把握（ワークショップ）の手法について ・公園ストック再編に関する市民の意見やニーズを効果的に把握できるか ・多様な市民層の意見を把握できる工夫があるか ・参加者が意見を出しやすい運営手法となっているか ・ワークショップの結果を分析及び方向性検討につなげられるか
			5	b. 公園ストック再編を見据えた公園利用実態調査の方法論について ・現地カウント調査及び人流データ分析の組み合わせによる調査手法が具体的かつ有効であるか ・利用目的や利用者特性を的確に把握できるか ・公園ストック再編の検討に活用可能な調査結果が得られる手法となっているか
			15	c. 公園ストック再編を見据えた分析手法 ・現況把握、市民意向調査及び利用実態調査等の結果を関連付け、総合的に分析できるか。 ・公園ストックの現状、利用特性及び市民ニーズを客観的かつ効果的に把握できる分析手法となっているか。 ・公園ストック再編の検討に活用可能な分析成果が期待できるか。
			15	d. 公園ストック再編を見据えた課題整理及び方向性検討手法 ・分析結果を踏まえた課題整理手法が明確か ・課題の優先順位や整理方法が妥当か ・緑の基本計画に位置付ける施策の方向性を導き出せるか ・将来の公園ストック再編計画の検討につながる提案となっているか
⑧	プレゼンテーション及びヒアリング	5	5	・説明が分かりやすく論理的か ・質疑応答が的確であるか